

～キエフ～

キエフは人口約 300 万人が住むウクライナの首都。キエフはドニエプル川の河畔に形成され、その恵まれた地理的条件を背景に、政治・経済の中心地となり、東スラブ民族を統一し、『キエフルーシ』と呼ばれる国家の首都としてキエフは華々しく歴史に登場しました。



現在の市内はドニエプル川を挟んで右岸(西側)と左岸(東側)に分かれ、右岸は古くから拓けていたため歴史的建造物が残っているほか、現在は行政および商業の中心地として栄えています。一方左岸は新興住宅地として高層住宅などの建設が進んでいます。また、キエフは別名“緑の都”とも呼ばれ、市内には広大な植物園がある他、緑豊かな公園があちこちに点在し、四季折々に美しい姿を見せてくれます。

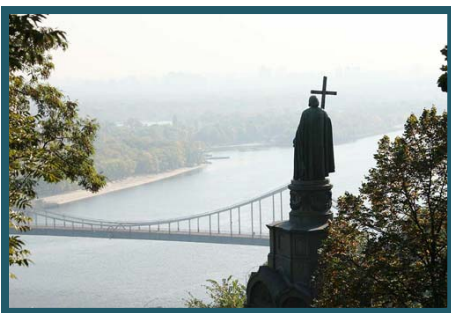
○フレシチャーティク大通り Khreshchatyk Street



キエフのメインストリート。ゆったりとした道幅をもち、両側の歩道にはマロニエの並木が続いています。

町の中心部、ドニエプル川を見下ろす高台に位置し、噴水が涼しいオアシス・ネザレージュノスティ(独立)広場から南西に延びたこの通りには、郵便局、劇場、ホテル、市役所、デパートなどが立ち並んでいます。

○ウラジーミルの丘 Vladimirskaya Gorka



キエフ市発祥の地であり、ドニエプル川右岸の標高約 100mの丘。展望台があり、ここに立つと右手に十字架を持つ古代キエフ公国の名君「ウラジーミル公」の立像が見えます。眼窩にはドニエプルの雄大な流れがひらけ、美しい大歩道(全長 400m)が、対岸のトルハノフ島の「文化と休息の公園」と結んでいます。丘一帯は公園になっていて、花壇もある市内の憩いの場所です。

○聖ミハイル修道院 St.Mykhaylivsk Zolotoverkhyi Monastery



外壁の鮮やかなフレスコ画と青く塗られた壁面、黄金のドームが美しい修道院。ケーブルカーで上ったウラジーミル広場に面しています。鐘楼の通路にチケット売り場があり、修道院の歴史や模型、写真を使った展示などがあります。

○聖ソフィア寺院 St.Sophia Cathedral

キエフ最古の遺跡の一つで、11世紀にヤロスラフ賢公によって建てられました。金色に輝くドームをもつ建物の内部には、聖母「オランタの像」など有名なモザイクやフレスコ壁画があります。10世紀のキエフ黄金時代当時の生活をしのばせる風俗画や装飾品も多くあり、ヤロスラフ賢公の霊廟もあります。



○ペチェルスカ大修道院 Pechersk Lavra Caves Monastery



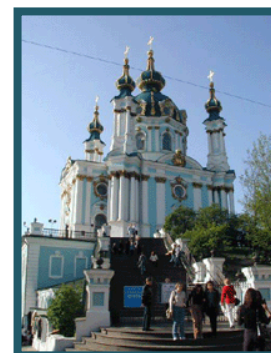
市の東南部、ドニエプル川岸の丘に立つロシア正教の大修道院。11世紀にこの丘の自然の洞窟に修道僧が住みついたことが始まりで、各種の僧院の建物が建てられ、僧院を擁する正教文化の中心となってきました（「ペチェーラ」は洞窟を意味します）。ソ連邦時代は博物館となっていました。1988年から正式に活動を再開しロシア正教ウクライナ支部の総本山となっています。

修道院は7kmに及ぶ城壁で囲まれ、その広大な院内には博物館や主要教会が集まっている北側の部分と地下墓地のある南側の部分に分かれています。見どころは高さ96mの大鐘楼。239の階段を上り切ると周囲360度のすばらしいパノラマが楽しめます。大鐘楼の前には11世紀に建てられたウスペンスキー大聖堂があります。

修道院の南側には、修道僧が掘り続けた地下洞窟が縦横に張り巡らされています。僧たちの遺体はそのまま洞窟内に葬られ自然にミイラ化しています。地下墓地ではその細い通路に遺体が置かれ観光客もその一部を見ることが出来ます。

○アンドレイ教会 St.Andrew's Church

ロシアの女帝エカテリーナのキエフ来訪を記念して、1749年に建てられました。エルミターージュ宮殿などバロック建築のラストレイリが設計し、キエフで1000年前に説教を始め、十字架を建てた聖アンドレイに由来します。教会が見下ろす坂もアンドレイ坂と呼ばれ、博物館が立ち並んでいます。



○ウクライナ歴史博物館 National museum of the history of Ukraine



ウクライナの歴史がわかる4階建ての大きな博物館。先史時代の出土品から始まってウクライナの独立まで膨大な資料が一覧できます。

住所：2, Volodymirska Str., 01001, Kyiv, Ukraina

電話番号：+380(044)278-48-64

開館時間：10:00~17:00

休館日：水曜日

ホームページ：<http://www.nmiu.org.ua/en.html>

○チェルノブイリ博物館 Chernobyl museum



チェルノブイリ原発事故の悲劇を伝える博物館。おびただしい量の写真と資料があります。実際に事故処理に使われた防護服や車両の展示などもある。

住所：1, Khoryv Lane, 04071, Kyiv, Ukraine

電話番号：+380(044)417-54-22

開館時間：10:00~18:00(土曜日は 17:00 まで)

休館日：日曜日・毎月最終月曜日

ホームページ：<http://www.chornobylmuseum.kiev.ua/index.php?lang=en>

～キエフ郊外～

○民族建築と生活博物館 Folk Architecture Museum

ウクライナの伝統的な木造建築を集めた野外博物館。家屋内には昔の家具や生活用具が展示されています。



○中央植物園 Central Botanical Garden



1936年に建てられ約13,000種類、5カ国から集められた植物を見ることが出来ます。

○海中公園 Hidropark pier

入場料は無料。900エーカー以上に及びドニエプル川の川岸にある砂浜のあるリバーサイド公園。水泳やバレーボール、テニス、バトミントン、ボートを借りてセーリングすることもでき、野外劇場やコーヒーショップ、レストランもある。



○動物園 The Zoo



1908年に作られた東ヨーロッパで大きな動物園の一つ。ここでは3500種類の動物や鳥を見ることが出来ます。